

中井博幸の市議会報告

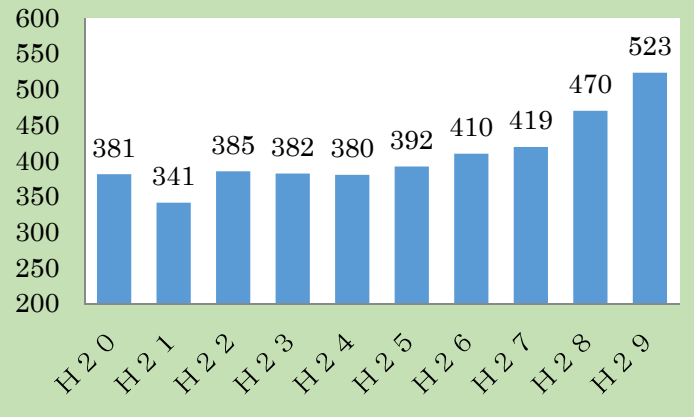


平成29年度予算が決定

平成29年度予算の特徴

過去最大規模の予算

平成29年度の一般会計の予算規模は過去最大の523億円となりました。北大阪急行線延伸事業が本格着工されたことに加え、箕面船場駅周辺のまちづくり予算や、萱野中央周辺の都市計画道路の整備、小学校の校舎の増設や、民間保育所の整備費など将来に向けた投資事業費が計上されました。他にも、扶助費が今年も10億円増加したことに加え、定年退職者の一時的な増加で、退職金が大きく増加しました。



市税や市債の増加

人口の増加に加え、景気回復で一人当たりの税額も増えたことで、個人市民税が増えました。箕面森町や彩都地区の家屋の増加による固定資産税の増加などを合わせた市税全体で約6億円増加しました。保育所関連や北大阪急行線延伸工事などに対する国や府からの補助金が約7億円増加しました。足りない分は基金の取り崩しや市債を発行して予算を組みました。

主な事業費

- 彩都の丘学園・とどろみの森学園の校舎等増築
18億6510万円
- 外国人英語指導助手を増員して英語教育の充実
2億675万円
- 子どもの医療費助成の対象を18歳まで拡充
5億7373万円
- 危険箇所点検の結果に基づく危険箇所の改良
2億200万円
- 桜井駅前ロータリー歩行空間整備の用地取得
1億4078万円
- 西南小学校北通線の歩道を拡幅する整備事業
1億1733万円
- 橋梁の長寿命化のための耐震補強工事・設計
1億8130万円

市立病院の建て替え

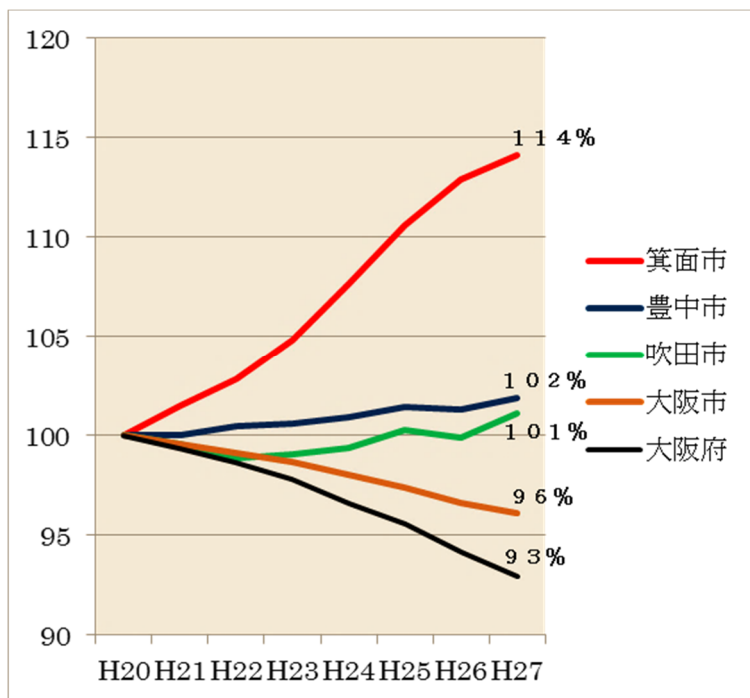
順調に経営改革が進んでいた市立病院ですが、医療技術の進歩とリハビリ技術の向上で、平均入院日数が短縮して、病床稼働率が下がり、収支が悪化しました。経営改善に向け、診療科目を増やす必要が有ります。病院の建物も、公立病院として、府内で最古の施設になり、バックヤード設備の深刻な老朽化と、がん治療に必要な最先端の医療機器を導入するスペースが無いことから建て替えも視野に検討が必要です。

中長期試算の状況

箕面市は、北急延伸事業に向け基金を貯めて体力をつけてきました。北急延伸と周辺まちづくりに多額の費用が必要なために、一時的に財政状況が悪化しますが、北急延伸という将来に向けた投資を行うことで、中長期的に見れば市が引き続き発展し、財政の健全化に寄与します。

中井博幸は3月議会で代表質問をしました

箕面市が順調に発展を続けることができた要因は？



メリハリの利いた事業展開

左表は、平成20年を100とした、0歳～15歳の人口の変化です。箕面市では、彩都や森町だけでなく、全市的に子育て世代が増えています。私は、なぜ、箕面市だけがこれほど子育て世代が増えたのか質問しました。英語教育の充実や保育所の整備を進めたことに加え、子どもの医療費の助成対象となる家庭の所得制限を設けない事が全国的に知れ渡り、多くの中高所得層の子育て世代が箕面に新たに住んでくれました。労働人口の増加で市税が順調に増加し、財政の安定と市の発展に寄与していると思われれます。とのことです

平成29年度一般会計予算の討論に参加しました

原案に賛成

原案は、安全対策では、土砂災害や水防対策などで、災害発生前に予防的な事業展開を行い。子育ての支援では、英語教育の充実や、待機児童対策、子どもの医療費助成での対象年齢の拡大等、市民の要望に的確に答えている。まちづくりでは、北大阪急行線延伸事業と関連する駅周辺の整備等、将来に向けた投資を行い、箕面市さらに発展させる予算編成になっているので**賛成**

修正案に反対

共産党・無所属の議員が提出した修正案は、ライフプラザの健康福祉部の総合窓口が構造上の欠陥で相談者のプライバシーが守れないことを改善するための予算を潰している、さらに、健康福祉事業の高度化で、より丁寧な相談業務が必要とされているにもかかわらず、相談業務を改善するために必要な予算も潰すなど、市民からの切実な要望を無視している。北急延伸事業や関連するまちづくり予算でも、すでに大阪大学との覚え書を交わし、事業化が始まっている大阪大学箕面キャンパス移転事業の予算を潰すなど、無責任極まりない修正案だから**反対**

皆様のご意見をお聞かせください

箕面市議会議員

中井 博幸

住所：箕面市桜4-7-28

電話：721-3230

ブログ「植木屋日記」もフェイスブックもやっています